こたえ 冬の朝のやくそく

月 日 名前

標準（ひょうじゅん） ⑦

冬の朝のやくそく

冬の朝、けんたは目ざまし時計より早く起きました。今日は、友だちのゆうとと、公園で雪だるまを作るやくそくをしているのです。

ところが、まどの外を見ると、雪はほとんどとけていました。けんたはがっかりして、いすにすわりこみました。

「これじゃあ、雪だるまは作れないな。」

それでも、やくそくをやぶるわけにはいきません。けんたが公園へ行くと、ゆうとはもう来ていて、手に小さなスコップを持っていました。

「木のかげなら、まだ雪がのこっているよ。」

二人は雪を少しずつ集めて、手のひらほどの小さな雪だるまを作りました。小さいけれど、けんたには、今までていちばんすてきな雪だるまに見えました。

1 今日は、二人で何を作るやくそくをしていましたか。

雪だるま

2 まどの外を見たとき、けんたががっかりしたのはなぜですか。

ア ゆうとが来なかったから。
イ 雪がほとんどとけていたから。
ウ 朝早く起きたから。

3 ゆうとは、手に何を持っていましたか。

小さな スコップ

4 「今までていちばんすてきな雪だるま」に見えたのは、なぜだと思いますか。

友だちといっしょに、雪を少しずつ集めて作ったから。

おうちの方へ

- 最初のがっかりした気持ちと、最後の気持ちの変化に注目しましょう。

© きりんドリル kirindrill.com